

調査項目：陸上動物

予測した事項：工事の施工中における建設機械の稼働及び工事用車両の走行及び土地の改変による陸上動物（鳥類）の変化の程度

1. 調査地域

調査地域は、図 2-1 に示す調査区域内の陸上動物(鳥類)の生息に適した草地、干潟、水域部とした。

2. 調査手法

2.1 調査事項

(1) 予測した事項

1) 工事の施工中における建設機械の稼働及び工事用車両の走行及び土地の改変による陸上動物（鳥類）の変化の程度

(2) 予測条件の状況

- 1) 工事中の土地改変の程度
- 2) 生息環境の変化の程度
- 3) 建設機械の稼働状況

2.2 調査時点

(1) 予測した事項

1) 工事の施工中における建設機械の稼働及び工事用車両の走行及び土地の改変による陸上動物（鳥類）の変化の程度

調査時期は、工事の施行中である平成 28 年度とし、秋季は平成 28 年 11 月 7 日(月)、冬季は平成 29 年 1 月 16 日(月)、春季は平成 29 年 3 月 2 日(木)、繁殖期は平成 29 年 6 月 29 日(木)、夏季は平成 29 年 7 月 27 日(水)とした。

(2) 予測条件の状況

- 1) 工事中の土地改変の程度
鳥類相の調査と同様とした。
- 2) 生息環境の変化の程度
鳥類相の調査と同様とした。
- 3) 建設機械の稼働状況
鳥類相の調査と同様とした。

2.3 調査地点

(1) 予測した事項

- 1) 工事の施工中における建設機械の稼働及び工事用車両の走行及び土地の改変による陸上動物（鳥類）の変化の程度

図 2-1 に示す台場地区、青海地区、有明地区とした。なお、調査範囲について、環境影響評価書（平成 5 年 2 月 東京都）における現地調査では中央防波堤内側埋立地及び青海三丁目付近についても調査地点としていたが、事後調査計画書では本事業における影響が生じる範囲を勘案し、調査地点を再設定しているほか、鳥類センサスルートについても、周辺の土地利用の変化を踏まえ、再設定している。

(2) 予測条件の状況

- 1) 工事中の土地改変の程度

図 2-1 に示す計画路線及びその周辺とした。

- 2) 生息環境の変化の程度

鳥類相の調査と同様とした。

- 3) 建設機械の稼働状況

図 2-1 に示す計画路線及びその周辺とした。

2.4 調査方法

(1) 予測した事項

- 1) 工事の施工中における建設機械の稼働及び工事用車両の走行及び土地の改変による陸上動物（鳥類）の変化の程度

現地調査及び関連資料の整理により把握した。

(2) 予測条件の状況

- 1) 工事中の土地改変の程度

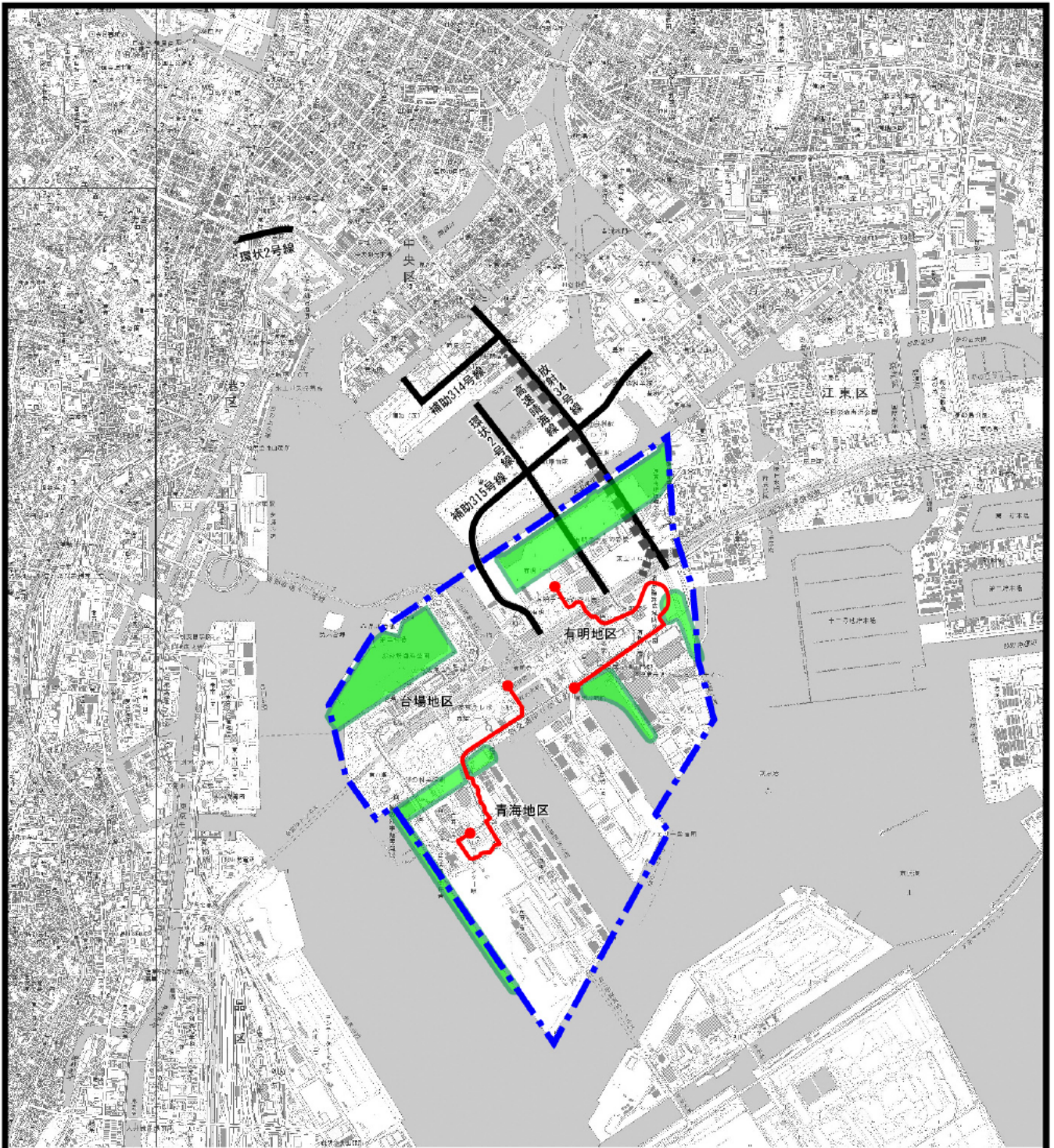
現地調査及び関連資料により把握した。

- 2) 生息環境の変化の程度






現地調査及び写真撮影により把握した。

- 3) 建設機械の稼働状況

現地調査及び写真撮影により把握した。



凡 例

-  幹線街路
-  高速晴海線
-  調査地域
-  鳥類センサスルート
-  水鳥カウント区域



Scale 1:50,000

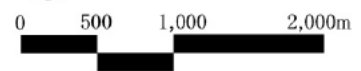


図2-1 調査地域